

12 食品ロスの削減について

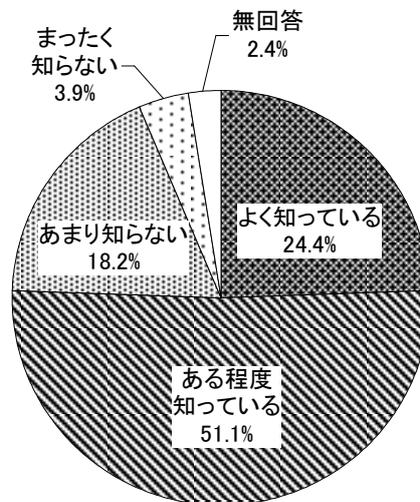
(1) 食品ロスの問題の認知度

問30 あなたは、「食品ロス」(※)の問題を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※ 食品ロスとは、食べ残しや賞味期限切れの食品など、本来食べられる部分が捨てられたものです。

[n=1,268]

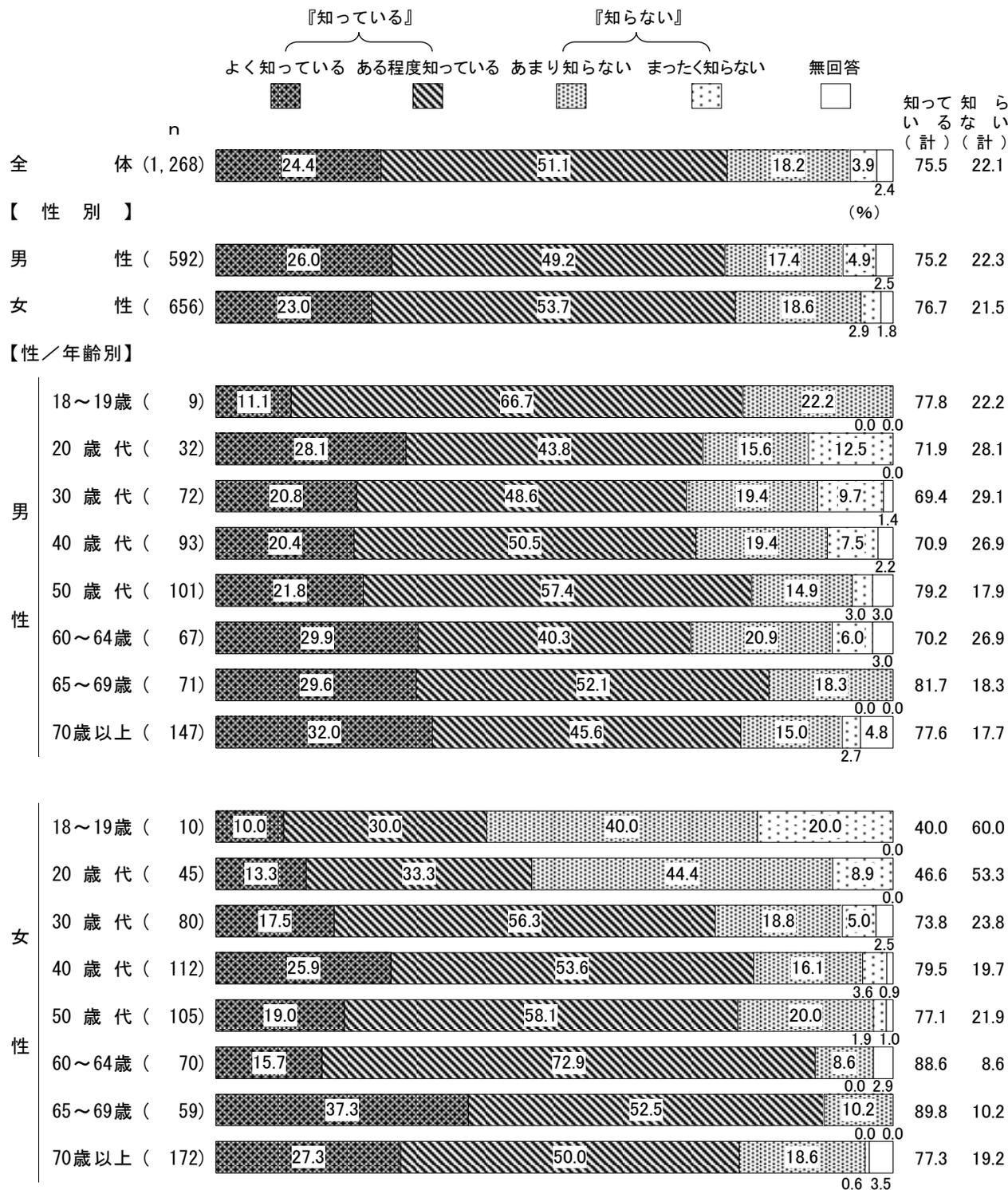
1 よく知っている	24.4%	3 あまり知らない	18.2%
2 ある程度知っている	51.1%	4 まったく知らない	3.9%
		(無回答)	2.4%



(n=1,268)

全体で見ると、「よく知っている」(24.4%)と「ある程度知っている」(51.1%)の2つを合わせた『知っている』(75.5%)は7割半ばとなっている。一方、「あまり知らない」(18.2%)と「まったく知らない」(3.9%)の2つを合わせた『知らない』(22.1%)は2割を超えている。

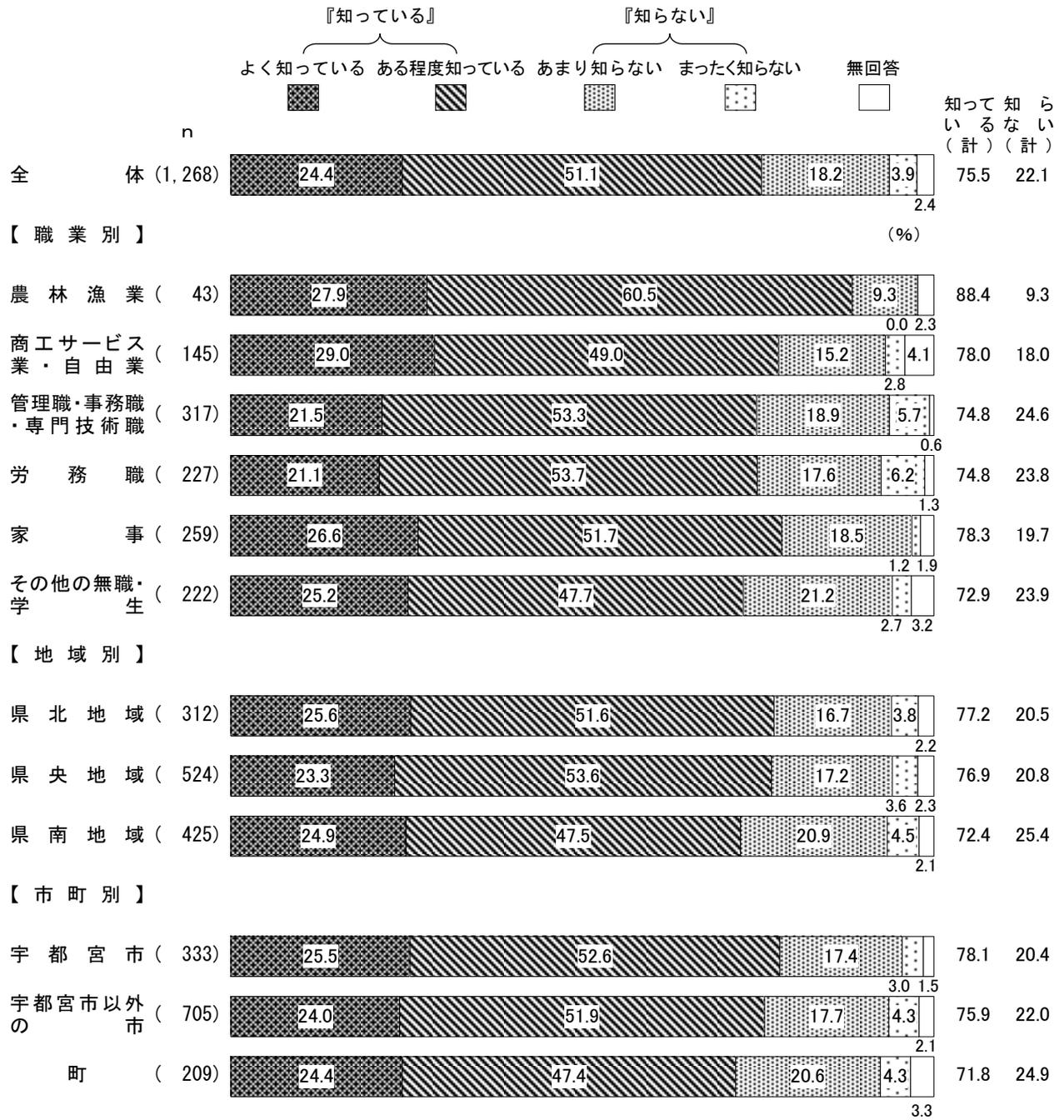
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『知っている』では〈女性65～69歳〉が89.8%、〈女性60～64歳〉が88.6%と高くなっている。一方、『知らない』では〈女性20歳代〉が53.3%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



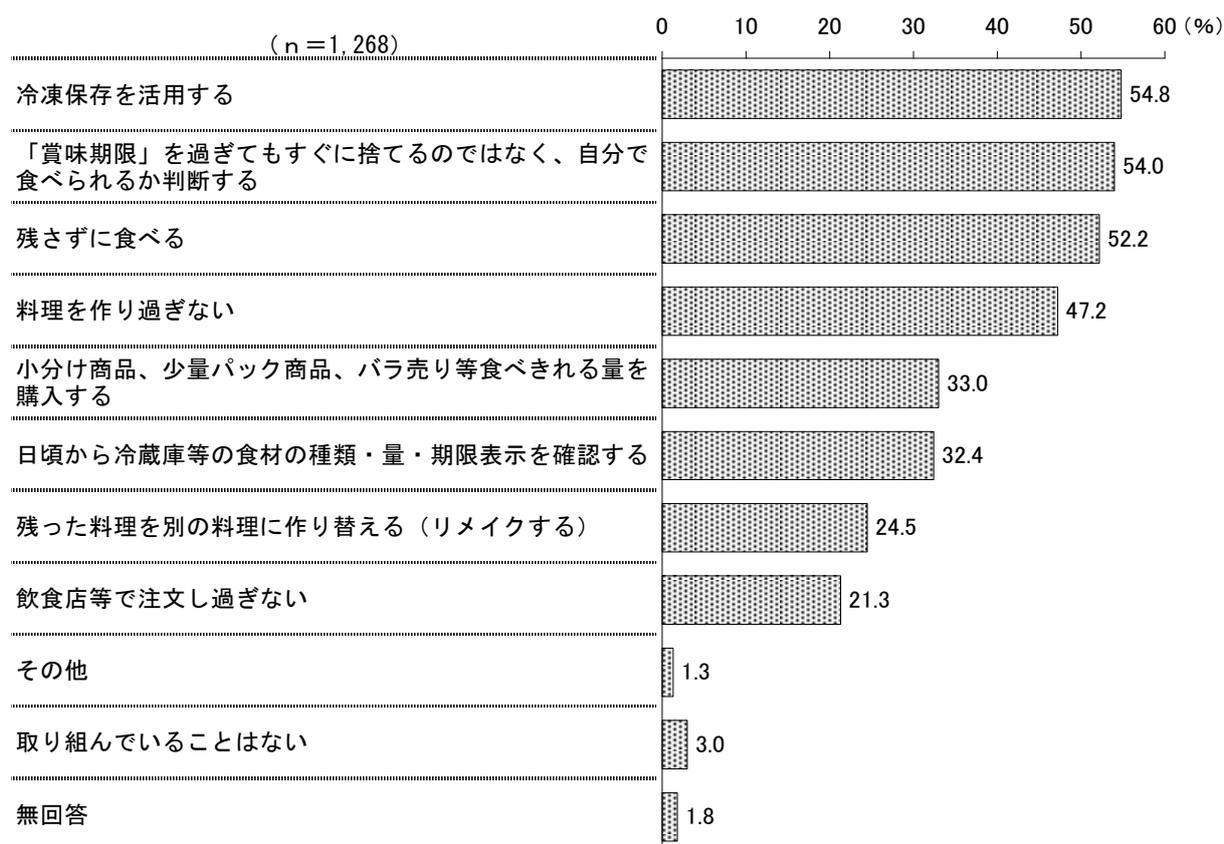
職業別で見ると、『知っている』では〈農林漁業〉が88.4%と高くなっている。
 地域別で見ると、『知っている』では〈県北地域〉が77.2%、〈県央地域〉が76.9%となっており、
 〈県南地域〉(72.4%)に比べて高くなっている。
 市町別で見ると、『知っている』では〈宇都宮市〉が78.1%と高くなっている。

(2) 食品ロスが発生させないために現在取り組んでいること

問31 あなたは、食品ロスが発生させない（食品を無駄にしない）ために現在取り組んでいることがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,268]

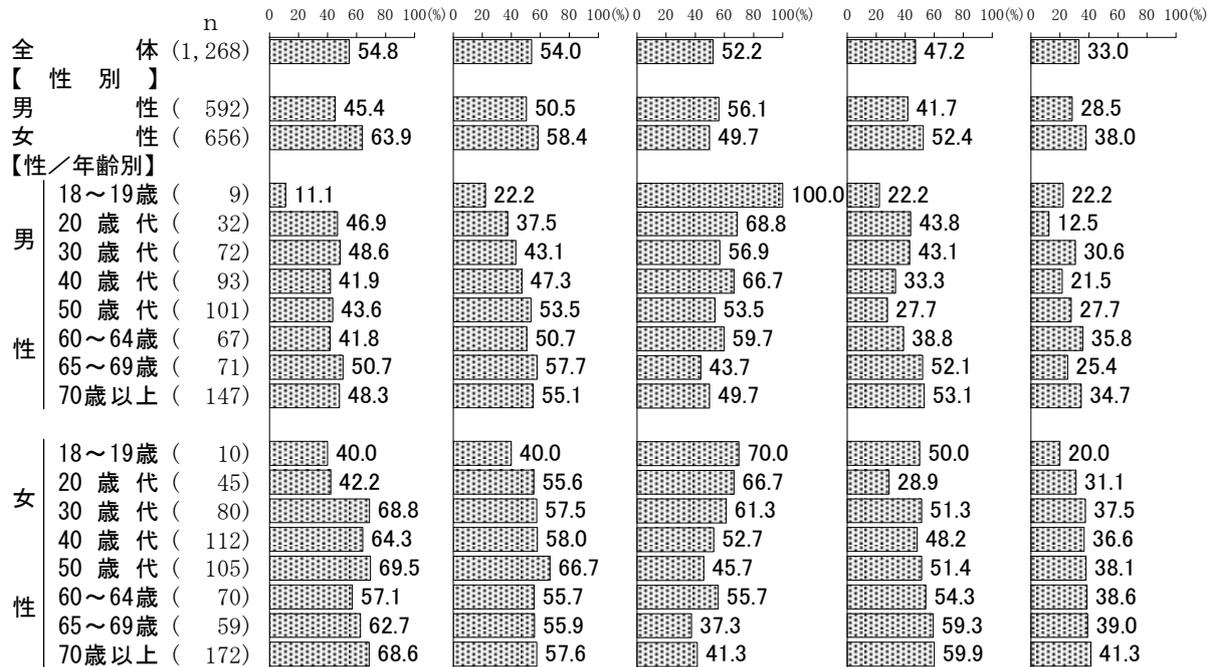
1 料理を作り過ぎない	47.2%
2 残さずに食べる	52.2
3 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	24.5
4 冷凍保存を活用する	54.8
5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	32.4
6 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	54.0
7 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する	33.0
8 飲食店等で注文し過ぎない	21.3
9 その他	1.3
10 取り組んでいることはない	3.0
(無回答)	1.8



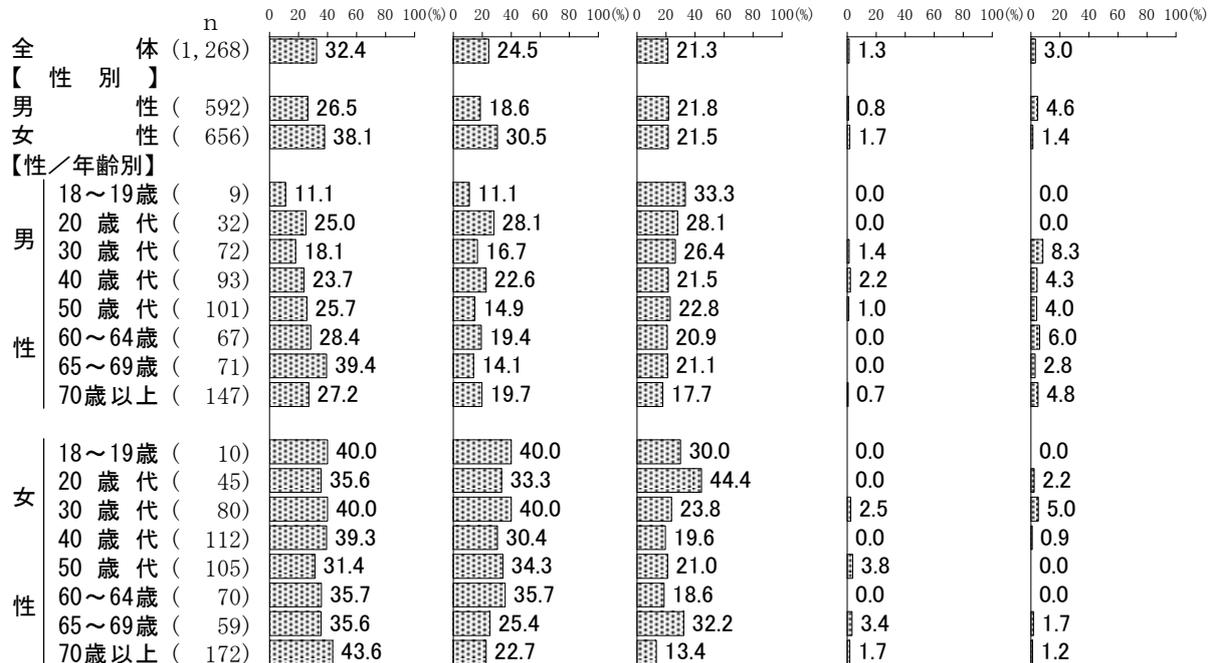
全体で見ると、「冷凍保存を活用する」(54.8%)と「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」(54.0%)がともに5割半ばで高く、次いで「残さずに食べる」(52.2%)、「料理を作り過ぎない」(47.2%)、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する」(33.0%)、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」(32.4%)の順となっている。

[性別・性/年齢別]

- 冷凍保存を活用する
- 「賞味期限」を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
- 残さずに食べる
- 料理を作り過ぎない
- 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する



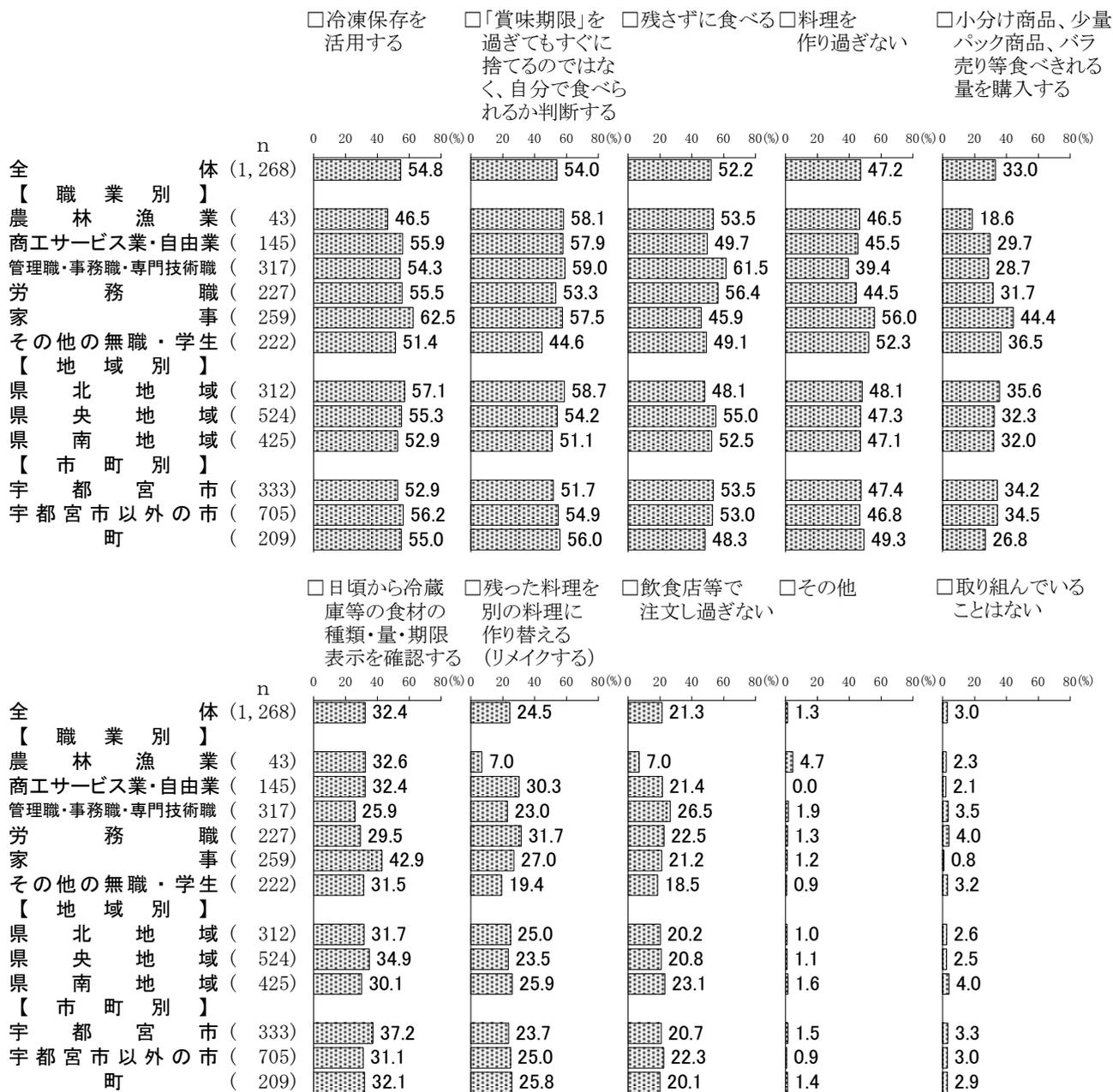
- 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
- 残った料理を別の料理に作り替える (リメイクする)
- 飲食店等で注文し過ぎない
- その他
- 取り組んでいることはない



性別でみると、多くの項目で〈女性〉の方が〈男性〉より高くなっており、特に「冷凍保存を活用する」で18.5ポイント、「残った料理を別の料理に作り替える (リメイクする)」で11.9ポイント高くなっている。「残さずに食べる」では〈男性〉(56.1%)が〈女性〉(49.7%)より6.4ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「冷凍保存を活用する」では〈女性50歳代〉が69.5%、〈女性30歳代〉が68.8%、〈女性70歳以上〉が68.6%と高くなっている。『賞味期限』を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」では〈女性50歳代〉が66.7%と高くなっている。「残さずに食べる」では〈男性20歳代〉が68.8%、〈男性40歳代〉と〈女性20歳代〉がともに66.7%と高くなっている。「飲食店等で注文し過ぎない」では〈女性20歳代〉が44.4%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「冷凍保存を活用する」では〈家事〉が62.5%と高くなっている。「残さずに食べる」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が61.5%と高くなっている。「料理を作り過ぎない」では〈家事〉が56.0%と高くなっている。「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する」では〈家事〉が44.4%と高くなっている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈家事〉が42.9%と高くなっている。

地域別で見ると、「『賞味期限』を過ぎてでもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」では〈県北地域〉が58.7%と高くなっている。「残さずに食べる」では〈県央地域〉が55.0%と高くなっている。

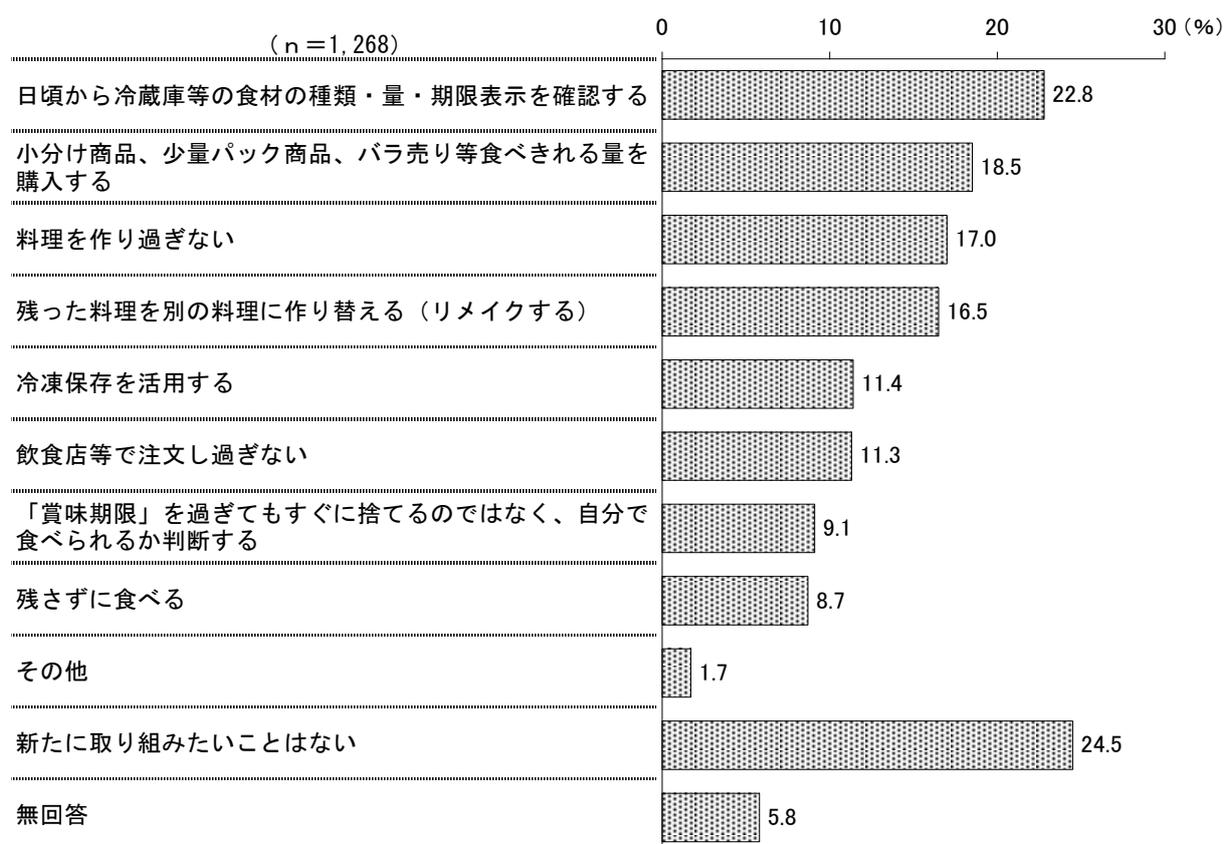
市町別で見ると、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈宇都宮市〉が37.2%と高くなっている。

(3) 食品ロスが発生させないために今後新たに取り組みたいこと

問32 問31で選択した項目以外で、食品ロスが発生させない（食品を無駄にしない）ために、今後あなたが新たに取り組んでみたいと思うことはありますか。次の中からいくつでも選んでください。

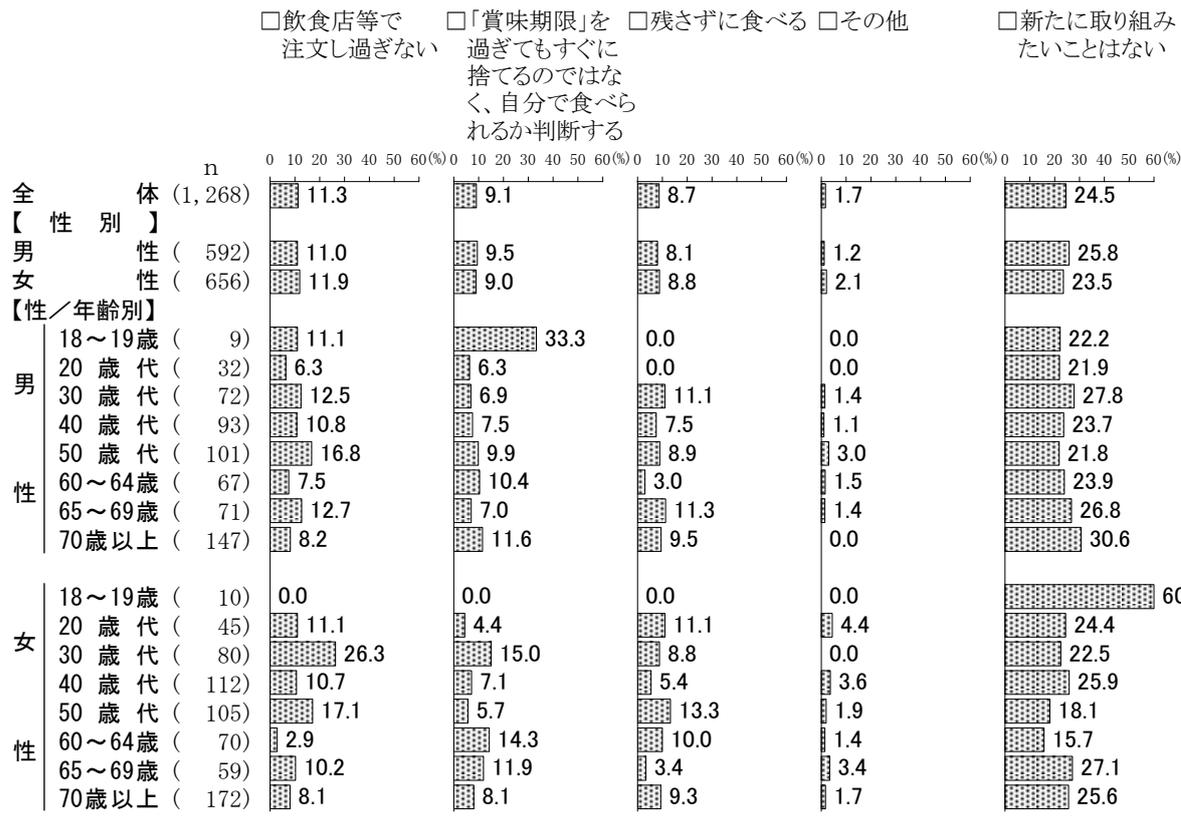
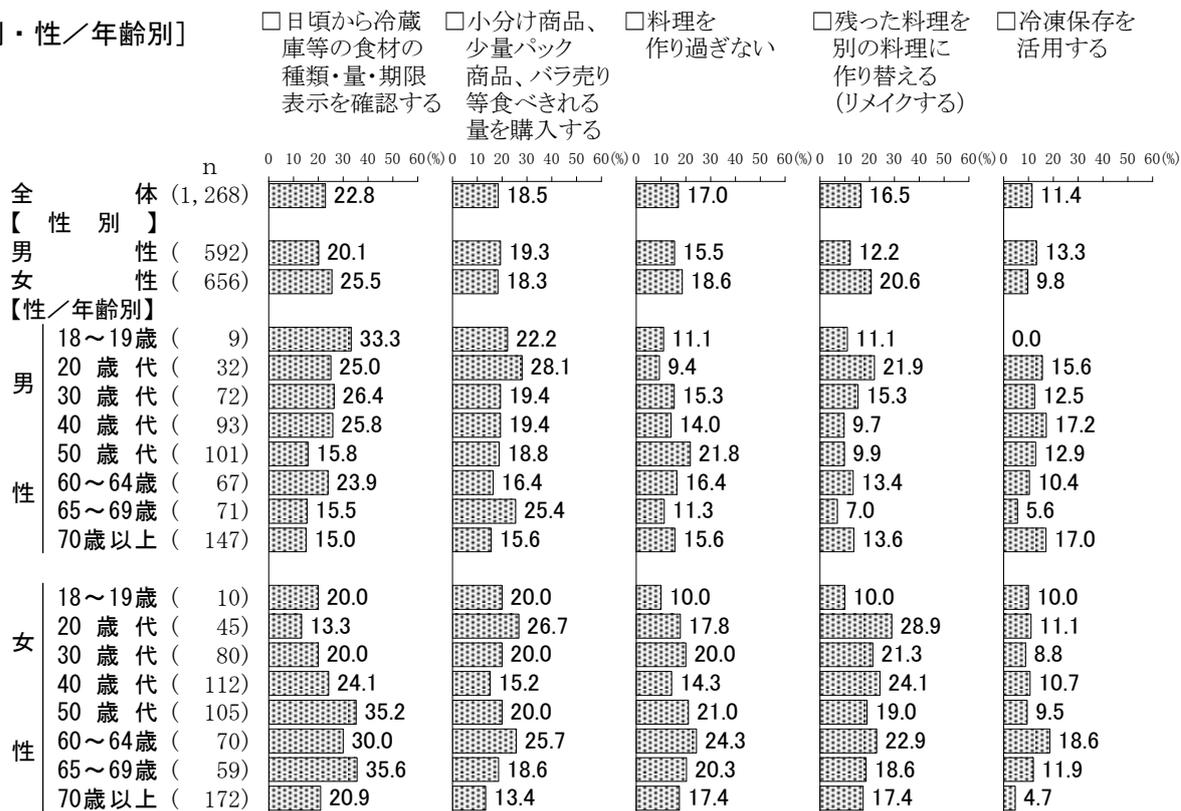
[n=1,268]

1 料理を作り過ぎない	17.0%
2 残さずに食べる	8.7
3 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	16.5
4 冷凍保存を活用する	11.4
5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	22.8
6 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	9.1
7 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する	18.5
8 飲食店等で注文し過ぎない	11.3
9 その他	1.7
10 新たに取り組みたいことはない (無回答)	24.5 5.8



全体で見ると、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」(22.8%)が2割を超えて最も高く、次いで「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する」(18.5%)、「料理を作り過ぎない」(17.0%)、「残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）」(16.5%)、「冷凍保存を活用する」(11.4%)、「飲食店等で注文し過ぎない」(11.3%)の順となっている。

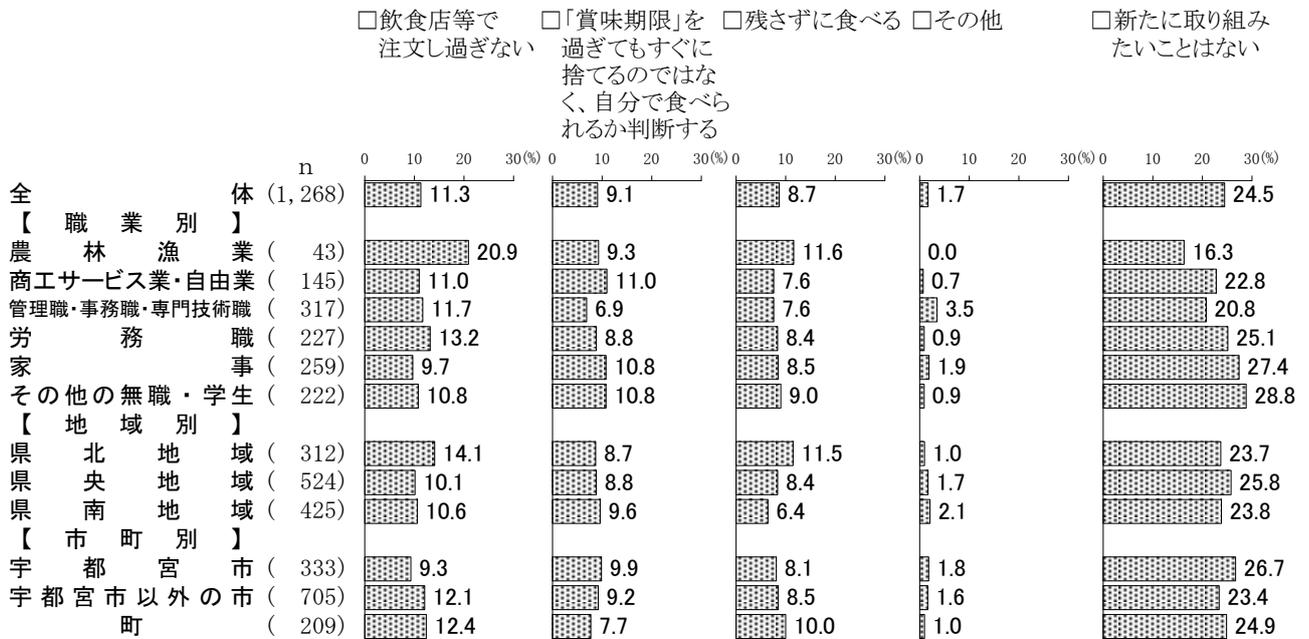
[性別・性/年齢別]



性別でみると、「残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）」では〈女性〉（20.6%）が〈男性〉（12.2%）より8.4ポイント高くなっている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈女性〉（25.5%）が〈男性〉（20.1%）より5.4ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈女性65~69歳〉が35.6%、〈女性50歳代〉が35.2%と高くなっている。「残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）」では〈女性20歳代〉が28.9%と高くなっている。「飲食店等で注文し過ぎない」では〈女性30歳代〉が26.3%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈家事〉が27.4%、〈労務職〉が27.3%と高くなっている。「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する」では〈農林漁業〉が25.6%と高くなっている。「残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)」では〈農林漁業〉が23.3%と高くなっている。「飲食店等で注文し過ぎない」では〈農林漁業〉が20.9%と高くなっている。

地域別でみると、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈県北地域〉が25.3%と高くなっている。

市町別でみると、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈宇都宮市以外の市〉が25.0%と高くなっている。「残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)」では〈宇都宮市以外の市〉が19.6%と高くなっている。